

予防保全の必要性

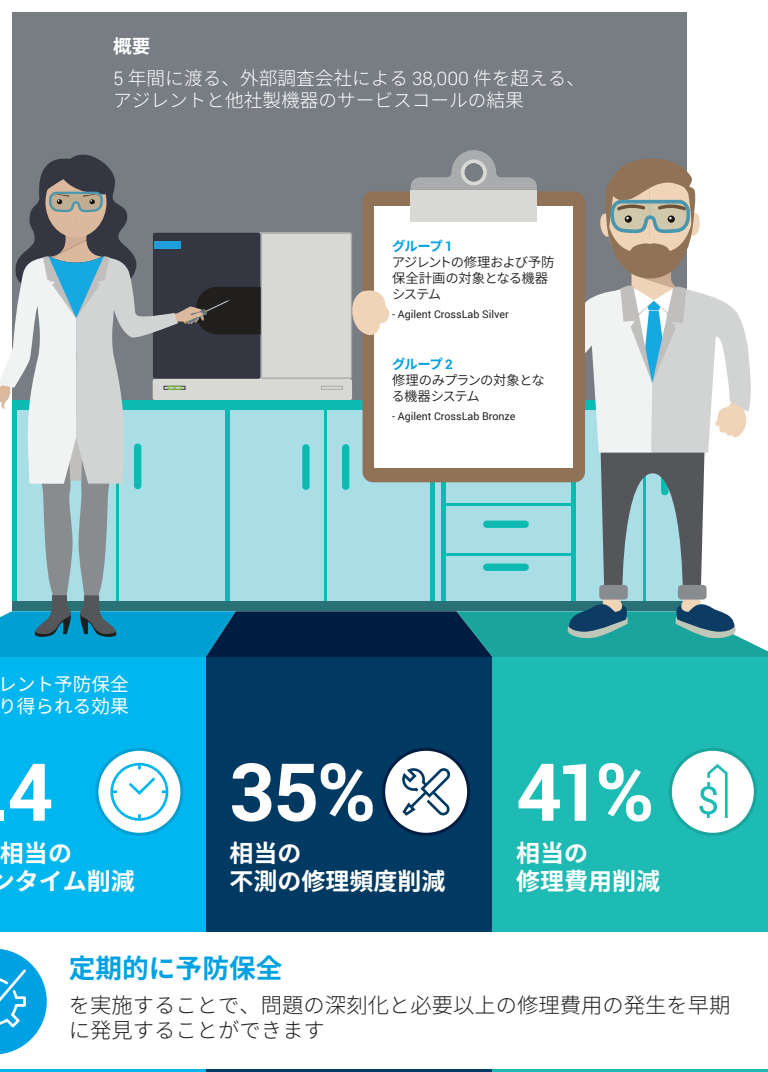
定期的な点検や修理で装置を良好な状態に保ち
トラブルを回避

Agilent
CrossLab
From Insight to Outcome

予防保全によって得られる平均改善率と日数

プラットフォーム	修理発生 頻度の削減率	修理費用 の削減率	ダウンタイムの 削減日数 (日/年)
GC	18%	17%	0.9
GC/MS	27%	31%	2.0
LC	26%	31%	2.5
LC/MS	39%	34%	3.0
ICP-MS	50%	45%	4.0
他社製機器	17%	25%	3.0
UV-Vis	9%	15%	0.5
加重平均	24%	31%	2.4
点検実施時に 発生した修理 を除く	35%	41%	3.4

注: 上記は過去の実績に基づく調査結果ですが、同等の効果を保証するものではありません。



本資料の記載内容は予告なく変更となる場合がございますので、
予めご了承ください。
ご不明な点がございましたら弊社カスタムコンタクトセンタまで
お問い合わせください。

アジレント・テクノロジー株式会社
カスタムコンタクトセンタ
フリーダイヤル: 0120-477-111
Mail: email_japan@agilent.com

©Agilent Technologies, Inc. 2021
Printed in Japan July 2021 DE44293.8977314815

